

水害に関する意識と備えについての足立区・国土交通省 合同調査 調査計画（案）

1. 目的

モデル地域における精緻な浸水解析の結果と住民意向・備えを比較することにより、荒川氾濫時において、感染症まん延下であっても命を守る様々な取り組みを検討する。

2. 方法

- ・分散避難アンケートは、モデル地域での検討結果を足立区全体、また他自治体へ敷衍することの妥当性を確保するために、対象を、モデル地区のみと足立区内の一定水浸水以上の地域全体の2通りで行う。

A；広域アンケート

区内の浸水深が3 m以上であるおおよそ区域（世帯数 238,797）

B：モデル地区アンケート

小台宮城・本木関原・千住第5地区（世帯数 20,531）

3. 配布数

- ・毎年の足立区の区政に関する世論調査の手法を参考に、回収率が低くなったとしても、信頼度90%が確保できる数として、A・Bそれぞれ3,000通の送付とする。

4. アンケート項目と得ようとする成果

項目と成果		クロス集計による成果					
項目	成果	危機感と想定ハザードの認識	分散避難の理解	考えている避難先	備蓄・準備の状況	ライフライン停止の許容	行政に望むこと
危機感と想定ハザード認識	これまでの広報、情報提供の成果		分散避難の理解の程度	避難手段の妥当性、時間の想定	認識と備えの整合	湛水時間短縮の効果	啓蒙、啓発への施策案
分散避難の理解	これまでの広報、情報提供の成果			希望避難先、移動の妥当性	理解と備えの整合	湛水時間短縮の効果	理解促進への施策案
考えている避難先	既年度算出との整合				避難先と準備の整合	準備行為の妥当性	避難への支援策案
備蓄・準備の状況	備えの実態					準備行為の妥当性	備えへの支援策案
ライフライン停止の許容	籠城の覚悟						ハード対策案
行政に望むこと	必要施策の検討						

・上記のほか CTL 関連（地域との繋がり、家族・近隣に要支援者の有無など）を入れる。